

【福岡】平成30年

度九州エリアWeb
K I T研修・交流会

が10日、ANAクラ
ウンプラザ福岡で開
催された。同研修会

は日貨協連（吉野雅
山会長）が主催とな
り、ネットワーク九

州協同組合（永山浩
二理事長、福岡ロッジ

テック）の声掛けの
もと開催された。

同会はWeb K I
T利用者の研修・交

流の場として毎年開
催されている。

日貨協連からは村
田省蔵専務、永嶋功

参与、松井太郎課長
が参加。同K I T・

情報化委員会、K I
T情報推進委員会

から馬渡雅敏委員

運賃指数、最高値更新へ

九州エリア WebKIT研修・交流会



長（松浦通運、唐津市）、川北辰実副委員長（カワキタエクスプレス、三重県亀山市）、齋藤和彦委員（トヨタライン、

山形県東根市）、堀部友里委員（岐阜梱包）、岐阜県揖斐郡）、松田直樹（松田商事、滋賀県湖南市）が参加。オプザーバーとして福岡協（眞鍋博俊会長）から鈴木新平係長が参加し、研修会はスタート

した。開会にあたり、馬渡委員長が、「来年リリース予定の新しいシステムではインフォメーションなどが工夫されている。運送業にとつてなくてはならないインフラとして、たくさん利用して頂き、一層よ

いものをめざしたい」とあいさつした。研修会は①Web K I T事業の現状と当面の予定について

②K I T・情報化推進小委員会の活用事例紹介③利用状況や課題などWeb K I Tの活用にかかる

処にリリースされる新システムでは、流れに沿ってワイド画面やスマホへの対応、専用アプリとしてのリリースとなることも発表された。

活用事例では福岡ロッジテックの永山社長から、自社の取り組みについて報告があった。成約件数で日本一となっている同社にあってその成果を出すポイントやGoogle+カレンダーを活用した営業取り組みなどを説明。「荷物情報を掲載するだけでなく、自らが動くことで情報を集める」と自社の工夫についても触れる内容となった。③ではディスカッションの場とし、それぞれ会社の利用状況を説明した。閉会後は交流会へ移行。それぞれが名刺交換を行い、情報共有。親睦を深めた。（青柳 翼）